

# 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成26年8月)

平成26年8月7日

## ① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況																補足説明
			9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8					
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第16回定期検査中 定検停止期間:H23.8.6~	第15回 H19.5.4 ~ H22.8.4 停止期間 H19.5.4 ~ H22.6.6 (1130日) (原子炉起動H22.5.31)	第16回定期検査による停止																
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3 ~ H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定期検査による停止																
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12 ~ H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定期検査による停止																
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9 ~ H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定期検査による停止																
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第13回定期検査中 定検停止期間:H24.1.25~	第12回 H18.11.24 ~ H23.2.18 停止期間 H18.11.24 ~ H22.11.25 (1463日) (原子炉起動H22.11.18)	第13回定期検査による停止																
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H24.3.26~	第9回 H22.10.31 ~ H23.3.9 停止期間 H22.10.31 ~ H23.1.26 (88日) (原子炉起動H23.1.23)	第10回定期検査による停止																
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H23.8.23~	第9回 H22.4.18 ~ H22.7.23 停止期間 H22.4.18 ~ H22.6.28 (72日) (原子炉起動H22.6.26)	第10回定期検査による停止																

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

## ② 発電所設備利用率(%) (7月末現在)

7月	0.0%
26年度累計	0.0%
運転開始後累計	56.4%

## ③ 発電所発電電力量(万kWh) (7月末現在)

7月	0
26年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

## ④ ドラム缶発生量(本) (H26年度第1四半期)

当期発生本数	526
貯蔵庫累積貯蔵本数	31,047
貯蔵庫保管容量	45,000

## ⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H26年度第1四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,734
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

## ⑥ 従業員登録データ(人) (8月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	824	2,234	56%
	刈羽村	90	188	5%
	その他	115	896	18%
	小計	1,029	3,318	79%
県外		94	1,050	21%
合計		1,123	4,368 (3,500※)	-
		5,491		100%
協力企業社数(社)		719		

※ 8月1日の協力企業構内入構者数

## ⑦ 来客情報(人) (7月末現在)

	7月	年度累計
地元	974	3,189
県内	916	2,886
県外	1,015	3,385
国外	5	44
合計	2,910	9,504

## ⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
8月28日	定例の記者説明会
9月11日	次回定例所長会見
7月26日~8月24日	夏休み期間発電所構内ガイドツアー (毎週土曜日、日曜日および8月13日~17日に開催)

インターネットホームページアドレス  
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社  
 柏崎刈羽原子力発電所  
 広報部  
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）  
～中越沖地震関連を除く～

平成26年 8 月 7 日

No.	お知らせ日	号 機	件 名	内 容
①	平成26年 7月18日	1号機	原子炉複合建屋（非管理区域）における油漏れについて（区分Ⅲ）	<p>（発生状況） 平成26年7月18日午前11時頃、1号機原子炉複合建屋（非管理区域）において、現場の清掃作業に従事していた協力企業社員が、地下2階の床面に油だまり（約180ミリリットル）を確認しました。 連絡を受けた運転員が午前11時15分に現場を確認した結果、油溜まりを確認した上層部にあたる地下1階非常用ディーゼル発電機B号機室の室内に約1,000リットルの油漏れを確認しました。</p> <p>このため、午前11時21分に消防本部へ連絡し、現場を確認していただきました。</p> <p>漏れた油は動弁注油タンクからオーバーフローして漏れたものであり、潤滑油プライミングポンプを停止すると共に、動弁注油タンク油張り弁を閉止することにより、油の漏えいは停止しています。</p> <p>（安全性、外部への影響） 漏れた油に放射性物質は含まれておらず、外部への放射能の影響はありません。 <u>その後、現場を確認した結果、地下2階の他の場所（管理区域）においても油滴を確認しましたが、油の量は数滴と少なかったため、設備への影響はなく、拭き取りを実施しています。</u></p> <p>（対応状況） <u>漏れた油については、7月18日午後6時10分頃、回収作業を終えています。</u></p> <p><u>原因調査の結果、今回の油漏れは、7月17日に運転員が実施した動弁注油タンクへの油補給作業において、作業完了後の動弁注油タンク油張り弁の閉止操作が不十分で、弁が完全に閉止できていなかったこと、および油補給作業のために起動させた潤滑油プライミングポンプの停止操作を失念していたことにより発生したことがわかりました。</u></p> <p><u>再発防止策として、今後、当該作業においては、手順書の使用を徹底し、運転員が各工程で確実な作業を実施してまいります。</u></p> <p><u>また、地下2階への油漏れについては、貫通部から滲んだものと考えており、今回と同様の漏えいが発生しないよう、貫通部の隙間を塞ぐなどの対策を検討してまいります。</u></p>
②	平成26年 7月25日	5号機	原子炉建屋最上階（管理区域）天井クレーンの不具合について（区分Ⅲ）	<p>（発生状況） 5号機原子炉建屋において、原子炉建屋天井クレーン走行軸点検作業を実施していたところ、走行軸の動力を伝達する車軸ギアカップリングの歯の一部が欠けていることを確認し、本日までに原子炉建屋天井クレーンの軽度な不具合に該当するものと判断いたしました。</p> <p>（安全性、外部への影響） 今回の不具合において、ギアカップリングの歯の一部が欠けていましたが、走行軸の点検作業を開始するまでは、原子炉建屋天井クレーンは正常に動作しておりました。また、残りのギアカップリングの歯については同様の不具合は確認されておらず、原子炉建屋天井クレーンの機能は維持されていたものと評価しております。 なお、外部への放射能の影響はなく、けが人も発生しておりません。</p> <p>（対応状況） 今後、当該のギアカップリングの交換を行うとともに、原因調査を進めてまいります。</p>

プレス公表（運転保守状況）  
～中越沖地震関連を除く～

平成26年 8月 7日

No.	お知らせ日	号 機	件 名	内 容
③	平成26年 8月6日	—	当社社員による放射線業務従事者の線量評価の遅延について（区分Ⅲ）	<p>（発生状況） 平成26年8月5日、当社社員の7月に行った定期内部被ばく線量測定・評価の実施状況を確認したところ、1名（女性社員）について、ホールボディ・カウンタ（以下、WBCと記載）による内部被ばくの測定・評価を行っていないことを確認しました。 保安規定では、女性については「内部被ばくによる線量」を1ヶ月に1回評価することを定めています。</p> <p>（安全性、外部への影響） 当該社員については、8月5日、WBCによる測定を実施し、内部被ばく線量評価を行い問題がないことを確認しております。</p> <p>（対応状況） WBCによる定期測定については、毎月、線量評価を行う部門から測定対象者に対して期限を指定して測定を依頼し、その後、測定完了状況を確認して測定未実施者に対しては再依頼を行い、期限までに全員が測定を完了するように管理を行っておりますが、7月については再依頼が行われていないことが分かりました。 今後、詳細な原因について調査を行い、再発防止に努めてまいります。</p>